

11月22日、23日に開催いたしました第11回RCGMフロンティアシンポジウムは、多くの参加者、また多数の方々のご支援とご協力により、盛会のうちに無事終了することが出来ました。
ご参加並びに関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

シンポジウムポスター

埼玉医科大学ゲノム医学研究センター (RCGM)
第11回 RCGMフロンティアシンポジウム

次世代医療に向けたゲノム医学の展開 ～エピゲノム解析から幹細胞・遺伝子治療へ～

平成25年11月22日(金) 23日(土)

於:埼玉医科大学

日高キャンパス 創立30周年記念講堂

特別講演

転写の基本装置と疾患

白髭 克彦 先生 (東京大学 分子細胞生物學研究所)

JR川越線「高麗川駅」・東武越生線「東毛呂駅」より路線バス

幹細胞の維持と分化におけるポリコム群の役割

古関 明彦 先生 (独立行政法人 理化学研究所
免疫アレルギー科学総合研究センター)

iPS細胞を用いた神経系の再生・疾患・創薬研究

岡野 栄之 先生 (慶應義塾大学 医学部)

遺伝子治療/細胞治療の臨床開発

小澤 敬也 先生 (自治医科大学 医学部)

部門長発表

黒川 理樹 遺伝子構造機能部門

井上 聡 遺伝子情報制御部門

奥田 晶彦 発生・分化・再生部門

片桐 岳信 病態生理部門

岡崎 康司 ゲノム科学部門

・トランスレーショナルリサーチ部門

三谷 幸之介 遺伝子治療部門

RCGM 若手研究者発表

懇親会 (無料)



大会長ごあいさつ

私ども埼玉医科大学ゲノム医学研究センター (Research Center for Genomic Medicine, RCGM) は、平成13年9月のセンター開所からゲノム情報および技術を基盤とした生物医学の基礎的研究、並びに臨床応用を重きにおいた研究に取り組んでまいりました。当センターでは、研究成果や最新の進捗を内外に広く紹介することを目的として、シンポジウムを毎年開催しております。このシンポジウムでは、外部からも関連分野の著名な研究者や新進気鋭の若手研究者を招待してご講演いただき、活発な議論による研究交流をおこなっております。

この度は、平成25年11月22日(金)～23日(土)の2日間に、第11回RCGMフロンティアシンポジウムの開催を企画いたしました。昨年、iPS細胞を作成した功績により山中伸弥博士がノーベル生理学・医学賞を受賞され、iPS細胞を用いた次世代医療研究が加速することは必至です。また、体細胞のリプログラミング機構などに関する基礎的研究もますます重要となる中で、私たちがこの11年間取り組んできていたゲノム医学研究も、さらに盛んになることが予想されます。ゲノムから細胞へ、基礎から臨床へ、医学研究に真摯に取り組んできた私たちの思いを込めて、今回は「次世代に向けたゲノム医学の展開～エピゲノム解析から幹細胞・遺伝子治療へ～」をタイトルとして掲げました。

参加される方々と共に深い議論がおこなわれることで、このシンポジウムが医学研究の更なる進展に寄与するまたとない機会となることを、期待しております。是非とも皆様のご参加と共に、ご支援ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

第11回RCGMフロンティアシンポジウム
組織委員長: 岡崎 康司
(埼玉医科大学ゲノム医学研究センター所長)

第11回RCGMフロンティアシンポジウム事務局
TEL: 042-984-4652
Email rcgm2013@saitama-med.ac.jp

第 11 回 RCGM フロンティアシンポジウムプログラム

1日目(2013 年 11 月 22 日)

14:00～14:10 開会の辞

岡崎 康司 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター所長)

14:10～17:20 フラッシュトーク

14:10～14:50 座長:仲地 豊、平崎 正孝

1. 堀江 公仁子 遺伝子情報制御部門 (ポスター P36)
2. 池田 和博 遺伝子情報制御部門 (ポスター P03)
3. 宮崎 利明 遺伝子情報制御部門 (ポスター P42)
4. 柴 祥子 遺伝子情報制御部門 (ポスター P20)

14:50～15:30 座長:水野 洋介、横尾 友隆

5. 藤本 健太 遺伝子構造機能部門 (ポスター P34)
6. 大澤 賢次 病態生理部門 (ポスター P06)
7. 塚本 翔 病態生理部門 (ポスター P27)
8. 吉田 哲 遺伝子治療部門 (ポスター P46)

16:00～16:40 座長:藤本 健太、吉田 哲

9. 平崎 正孝 発生・分化・再生部門 (ポスター P33)
10. 鈴木 歩 発生・分化・再生部門 (ポスター P23)
11. 和田 琢 プロジェクト部門(三村チーム) (ポスター P47)
12. 水野 洋介 ゲノム科学部門 (ポスター P41)

16:40～17:20 座長:大澤 賢次、吉田 哲

13. 伊関 大敬 ゲノム科学部門 (ポスター P04)
14. 菅原 泉 ゲノム科学部門 (ポスター P22)
15. 仲地 豊 トランスレーショナルリサーチ部門 (ポスター P31)
16. 水野 由美 トランスレーショナルリサーチ部門 (ポスター P40)

17:30～18:30 スナックポスターセッション

2日目(2013 年 11 月 23 日)

9:30～9:45 開会の辞

岡崎 康司 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター所長)

9:45～12:00 RCGM 部門研究講演

9:45～10:00 講演 1 座長:片桐 岳信

三谷 幸之介 (遺伝子治療部門)

ヒト幹細胞の染色体操作技術と更なる改良に向けて

10:05～10:25 講演2 座長:井上 聡

奥田 晶彦 (発生・分化・再生部門)

c-Myc パートナー因子である *Max* ホモ欠失 ES 細胞が呈する代謝異常

10:25～10:45 講演3 座長:岡崎 康司

黒川 理樹 (遺伝子構造機能部門)

非コード RNA によるエピゲノム制御-RNA 結合タンパク質 TLS のメチル化制御

11:00～11:20 講演4 座長:三谷 幸之介

片桐 岳信 (病態生理部門)

進行性骨化性線維異形成症(FOP)研究の取り組み

11:20～11:40 講演5 座長:奥田 晶彦

井上 聡 (遺伝子情報制御部門)

性ホルモン応答経路の探索と乳がん・前立腺がんの新規治療標的の発見

11:40～12:00 講演6 座長:黒川 理樹

岡崎 康司 (ゲノム科学部門・TR 部門)

次世代医療を指向するゲノム医学研究(ミトコンドリア呼吸鎖異常症を中心として)

13:30～17:10 特別講演

13:30～14:20 特別講演1

座長:黒川 理樹

白髭 克彦

(東京大学 分子細胞生物学研究所 ゲノム情報解析研究分野 教授)

転写の基本装置と疾患

14:20～15:10 特別講演2

座長:奥田 晶彦

古関 明彦

(独立行政法人 理化学研究所 統合生命医科学研究センター
免疫器官形成研究グループ グループディレクター)

幹細胞の維持と分化におけるポリコム群の役割

15:30～16:20 特別講演3

座長:岡崎 康司

岡野 栄之

(慶應義塾大学 医学部 生理学教室 教授)

iPS 細胞を用いた神経系の再生・疾患・創薬研究

16:20～17:10 特別講演4

座長:三谷 幸之介

小澤 敬也

(自治医科大学 医学部 内科学講座 血液学部門 教授
医学部 免疫遺伝子細胞治療学(タカラバイオ)講座 教授
分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部教授・センター長)

遺伝子治療／細胞治療の臨床開発

17:10～17:20 閉会の辞

別所 正美 (埼玉医科大学 学長)

17:20～17:40 記念撮影

18:00～20:00 懇親会(テレサホール)